

昭和52年度日本気象学会奨励金受領候補者募集

昭和45年度より日本気象学会は研究費、研究環境に恵まれない会員の研究を奨励するために、「日本気象学会奨励金」制度を設け、年間に10万円総額を2件の受領者に贈与し、昭和47年度からは件数・総額ともに拡大して3件、総額15万円を贈与することとしました。

さらに昭和51年度からは小・中・高校の地学教育に従事されている先生で、教育のかたわら気象学の研究を進めて来られている方を3件のなかの1件として、特に奨励金贈与の対象とし、気象教育の振興を図る一助とすることにしました。

本年度の受賞を希望する会員、あるいは他の会員を受領者に推薦しようとする会員は、申請についての要綱にもとづき、下記の形式で応募あるいは推薦をして下さい。

昭和52年 4月

日本気象学会理事長

記

締切：昭和52年7月20日送付先必着

送付先：〒100 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁内 日本気象学会奨励金選考委員会

用紙：B5版、横書き

記入要領：

1. 受領候補者氏名(ふりがな付)・印・生年月日・勤務先および地位・連絡先(郵便番号・郵便宛名)。
2. 研究題目。
3. 研究経過と今後の研究計画(あわせて400字詰原稿用紙4枚以内)。
印刷報告・学会発表のあるものは、題目・雑誌名・巻号頁数、あるいは題目・学会名・年月を記入し、また、別刷・図表・写真等の参考資料があれば

添布する。資料は原則として返却しない。

4. 受領候補者略歴。

5. 推薦の場合は、推薦者氏名・印・勤務先および地位・連絡先(郵便番号・郵便宛名および電話番号)。
この場合は候補者の印は不要。

注) 共同研究の場合は1件として候補者を連名で記入する。

奨励金申請についての要綱

1. 気象学、気象技術の進歩に貢献し得る将来性、発展性のある研究はすべて本奨励金の対象となる。完成度の高い研究であることは必要条件ではない。

2. 大学あるいは研究機関に勤務し、経常あるいは特別研究費の配分を受けて気象学の研究に従事する会員は原則として、対象から除外される。また、応募あるいは推薦研究題目について他機関から既に研究助成金を受けているものについても、原則として、対象から除外される。

3. 受領者の選定は、奨励金受領者選定規定に従って、理事長の委嘱する5名の選考委員によって行なわれ、今年度の贈呈は10月4日～6日札幌市で開催される秋季大会において行なわれる予定(受領者または代理者が出席可能な場合)。

4. 受領者は奨励金受領後1カ年以内に簡潔な研究報告を理事長に提出する。

5. 本奨励金申請についての問合わせは、

担当理事 立平良三(〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁予報課)
Tel. 03-212-8341
内線 292 まで。

正 誤 表 (下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正します)

巻号	ページ	行	誤	正		
24. 2.	118	第8表b	(R. P. 型)			
			Hazen	Gumbel	Hazen	Gumbel
			S_p L_p D_p C_p S_p L_p D_p C_p	S_p L_p D_p C_p S_p L_p D_p C_p	S_p L_p D_p C_p S_p L_p D_p C_p	S_p L_p D_p C_p S_p L_p D_p C_p
			C C D E C B C E	A A D E A B A E	A A D E A B A E	A B A E
24. 1.	25	新入会員 会員番号4348	茨城県新治郡桜村岩瀬	茨城県新治郡桜村吉瀬		